

明細管理&履歴管理型・ 4次元ALMシステム ValueStage®-NE / ALM

金利リスクと流動性リスクを高度に管理することで、
金融機関の収益性向上を支援し、同時に時価会計の元となる
明細別データを履歴管理する次期ALMシステム

※時価対応も包含するようラダー・キャッシュフロー情報を明細単位で格納するデータベースを中核に、ローエンド/ハイエンドのALM分析機能を実装し、多様なシミュレーションを実施できる基盤システム。

※4次元：現時点から将来への時間軸と金利(金額)というALM(2次元ALM)に、複数の科目体系での分析など様々な分析軸で分析する機能(3次元)に加え、過去時点に遡って過去から現在の遷移を見ることが出来る(4次元)分析軸。



世界的な景気動向が不透明化していくなかで、国内の金融機関においてもよりきめ細かなリスク管理が求められています。このため、金利リスク分析能力の強化や時価会計への対応、また流動性リスク管理の高度化が急務になっています。日本ユニシスでは、永年に亘る金融機関向けのシステム開発で蓄積してきたノウハウを生かし、履歴管理された明細データを基に、金利リスクを一元的に把握することができる「ValueStage-NE/ALM」を開発しました。金融機関のリスク管理を高度に支援し、さらに収益分析の基盤になりうる統合的なシステムの構築を実現します。 *ALM(Asset Liability Management)

ValueStage-NE / ALMの特長

●分析機能、シミュレーション機能の拡張

①期間損益分析では、各種シナリオの設定方法を拡張

・シナリオ:金利、資金、残存(ストック・フロー)、利息・配当金、資金シフト、PL、信用コスト、等

②現在価値分析では、様々な分析指標やバーゼルII金利ショックに対応し、外貨市場イールドを実装

・分析指標:GPS、BPV、理論時価(Dirty/Clean)、市場時価、評価損益、マコーレ・デュレーション、モディファイド・デュレーション、債券・コンベクシティ、モディファイド・コンベクシティ、等

・金利ショック対応:金利リスクラダー方式、GPS方式(GPS計算)、コア預金、PV用ゼロクーポンレート、GPS変動幅シナリオ、流動性CF補整パラメータ、金融庁モニタリング資料、等

③BankingVaRについては、分散共分散、ヒストリカル・シミュレーション、モンテカルロ・シミュレーションを利用可能

・バックテスト:各種金利、株式インデックス、為替レートに対応

●業務系システムとの標準インターフェース

各種の業務系システムのオンバランス明細データを取り込み、ラダー・キャッシュフローを生成する標準インターフェース

※オフバランス取引の将来予想キャッシュフローも格納可能

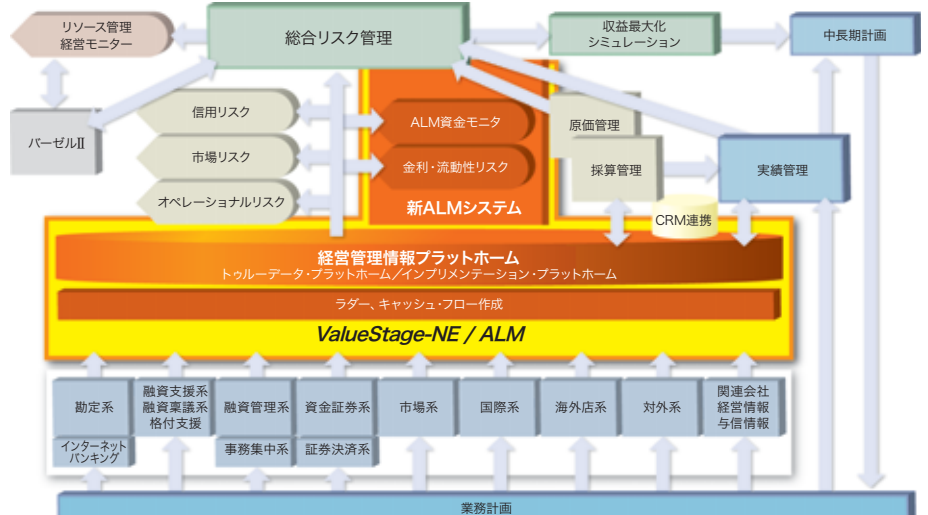
●経営情報系データベースの構築

①明細単位のラダー・キャッシュフローを、過去から現在にわたって時系列に保持し、参照できるデータベース

②明細情報を分析キーで抽出し、集約した満期ラダー、実績ラダーを作成できるデータベース

③時価対応の基盤として、負債側/資産側のラダー・キャッシュフロー明細情報を一元的に格納するデータベース

■金融機関における経営情報系の全体像



ValueStage-NE/ALMの機能

過去基準月での分析

データを目的別にサイクルで管理しているため、過去データの照会や過去基準月でのシミュレーションが可能です。

・目的別のサイクル管理

目的別、データ粒度別（明細別、部店別など）に蓄積期間が設定可能です。

・現状分析

分析帳票出力時にデータ蓄積期間の基準月リストより、対象の基準月を指定します。

・シミュレーション

シナリオ基準日を変更することにより、過日基準日でのシナリオ入力、シミュレーション計算が可能となります。データ蓄積期間の任意の基準日をシナリオ基準日に指定することが可能です。

多様な分析手法の提供

計算パラメータの設定自由度を高め、多様な分析手法を提供します。

・分析データの粒度

ストック・フロー別の計数の照会が可能です。現状分析では、部店別、明細別の定型帳票が出力可能です。また、各種集約期間の指定ができます。

・計算パラメータ

期間損益では、資金量計算と利回計算の処理区分を自由に組み合わせる設定が可能です。

ストレスPV、ストレスVaR計算ではゼロクーポンレートに対するストレスをシナリオとして設定することができます。

Vol/Cor計算では、観測期間、保有期間、変動率/変動幅を指定することが可能です。

・計算過程の検証

計算で算出、使用する主要な情報をデータベースに保存します。汎用検索ツールを使用

することにより、ユーザが必要な情報を抽出して計算過程を検証したり、計算過程の情報を利用することが可能です。

分析機能の強化

現状分析、シナリオ分析の計算機能を強化しています。

・VaR算出機能

資金量の変化、金利の変化を加味した将来時点のVaR算出が可能です。モンテカルロの試行回数を10,000回まで対応します。また、変動幅によるボラティリティに対応します。

・信用コスト算出機能

実績、予想の信用コスト額を算出することが可能です。

・外貨市場イールド対応 (VaR、PV分析について対応)

USD、EURなど任意の外貨イールドによるリスク算出が可能です。

・その他

預金保険料、日銀預け金負担分、保有純現金負担分の実績計算算出が可能です。金利ポジション、レート別ラダーを資金満期ベースで分析します。

作業効率の向上

ウィザード形式の画面遷移により条件設定の簡便化を図りました。また、設定した条件を登録可能としたことで、作業効率が格段に向上しました。

・定型帳票のパターン登録

帳票出力時に、科目、項目、期間などを指定し、パターンとして登録することが可能です。帳票出力の都度条件を指定する必要がなくなります。

・計算条件の指定

計算実行時に指定するパラメータを登録する

ことが可能です。シナリオを修正して再計算する場合には、計算結果を直接指定して実行できます。

・一括処理

登録された帳票出力パターンを複数指定して一括作成することが可能です。月次処理の対象に指定すると、月次処理時に一括作成します。また、既存の計算結果を指定してシミュレーションの一括計算ができます。

・ウィザード形式の画面遷移

帳票出力や計算実行に必要な条件を画面の指示に従って指定できます。

セキュリティへの対応

情報システムに求められているセキュリティ要件に対応しています。

・本人認証

システム利用時にユーザIDとパスワードを使用して認証します。パスワードにはルールと有効期限の設定が可能です。

・アクセス制御

ユーザIDに対して、機能ごとにアクセス権を設定します。

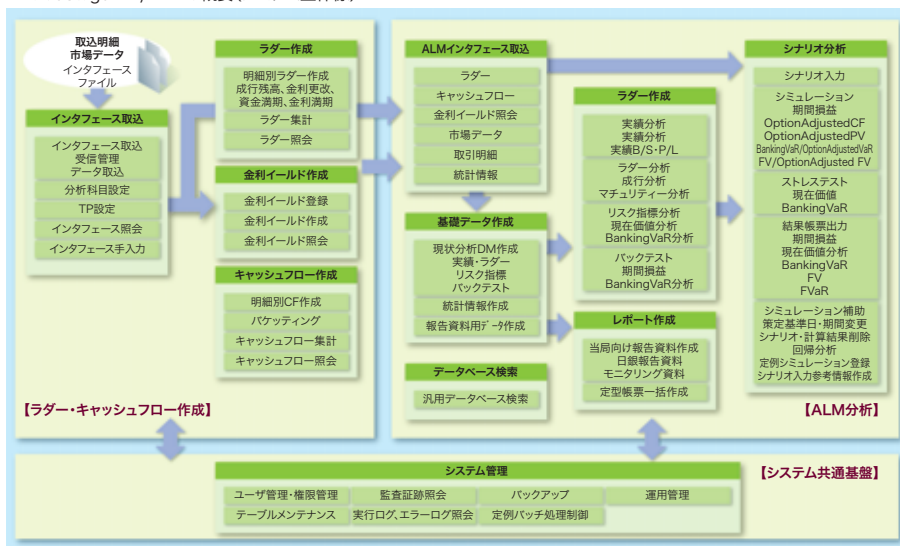
・ログ・証跡

利用証跡を、機能利用/データアクセスの都度サーバに記録します。記録内容には、アクセス開始日時・アクセス終了日時・使用端末・使用ユーザ・利用機能・利用データなどを記録し、一定期間保存します。

・端末管理

不正アクセスを排除するため、使用端末をサーバ側で管理する機能を保有しています。

ValueStage-NE/ALMの概要(システム全体像)



※ValueStageは日本ユニシス株式会社の登録商標です。
※その他記載の会社名、製品名およびシステム名は各社の登録商標または商標です。

日本ユニシス株式会社

●お問い合わせ先

本社 東京都江東区豊洲 1-1-1 〒135-8560
電話 03-5546-4111 (大代表)
http://www.unisys.co.jp/